

令和2年度 社会福祉法人弥生福祉会 事業計画書

【法人の理念】

《組織の基本的な目的ならびに価値観》

老いても人生をエンジョイできる地域社会の創造

【法人目的】

《理念で示された基本的な目的並びに価値観を更に協調した主な価値（定款上の目的）》

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

- ① 第1種社会福祉事業
特別養護老人ホーム愛寿苑の経営
- ② 第2種社会福祉事業
 - イ. 老人デイサービス事業の経営（愛寿苑デイサービスセンター）
 - ロ. 老人短期入所事業の経営（ショートステイ愛寿苑）
 - ハ. 老人介護支援センターの経営（愛寿苑在宅介護支援センター）
 - ニ. 小規模多機能型居宅介護事業の経営（やよいの里）
 - ホ. 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営（やよいの森）
- ③ 老人居宅介護等事業（愛寿苑居宅介護支援センター）
- ④ 福井市基準該当生活介護・自立訓練事業
（愛寿苑デイサービスセンター／やよいの里）
- ⑤ 自主事業
 - ・ 愛寿苑デイサービスセンター 宿泊サービス（福井市在宅介護支援事業登録）
 - ・ ふく福くらしサポート事業（生活困難者総合相談・生活支援事業）
（福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会 会員）

【法人方針】

《本年度の法人が目指す方向》

1. 職員一人ひとりが資源であることを自覚し、お互いが認め合い、学び合って、サービスの向上を図り、地域の利用者の方にとって、私たちにとっても「価値あるサービス」を提供ができる組織を目指す。

【行動指針】

《本年度の法人職員が日々、誠実かつ適切な行動をするための共通の価値観・倫理観であり、行動の拠り所となる方針》

1. 私たちは、法令遵守を第一に考えます。
2. 私たちは、元気よく、笑顔を持って利用者の方々を支援します。

3. 私たちは、明確な目標を掲げ、情熱をもって行動し、福祉従事者としての「生きがい・やりがい」を追い続けます。

【法人スローガン】

《本年度、法人が主張や目標を強く印象づけるために、効果的に要約した文章。標語》

『築こう、信頼。安心あるサービス』

地域の利用者にとって安心という「価値あるサービス」を提供するために、人がひとを支える援助者として、常に、やさしさ、おもいやりをもって積極的に行動し、地域の皆様への信頼、連携を築いていきましょう。

【法人事業に対する取り組み】

《本年度、法人として達成を目指すことがらを示す》

○法人

- ・社会福祉法改定に伴う対応。評議員会、理事会、運営協議会により円滑な法人の運営を図る。
- ・各社会福祉事業の円滑な運営を図り、地域老人福祉に寄与する。
 - (1) 特別養護老人ホーム愛寿苑（介護老人福祉施設）
 - (2) ショートステイ愛寿苑（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護事業所）
 - (3) 愛寿苑デイサービスセンター
（通所介護事業所・通所型予防給付相当サービス・通所型基準緩和サービス／
障害者：基準該当生活介護・自立訓練事業）
 - (4) 愛寿苑在宅介護支援センター（地域型老人介護支援センター）
 - (5) 小規模多機能型居宅介護事業 やよいの里（障害者：基準該当生活介護）
 - (6) 認知症対応型老人共同生活援助事業 やよいの森
 - (7) 愛寿苑居宅介護支援センター（居宅介護支援事業所）
 - (8) 愛寿苑デイサービスセンター宿泊サービス（自主事業）
（福井市在宅介護支援事業登録）
 - (9) ふく福くらしサポート事業（生活困難者総合相談・生活支援事業）（自主事業）
（福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会 会員）
- ・地域福祉の拠点としてのコミュニティーホールの検討、推進。
- ・保育・障害等福祉事業／一般診療所化（愛寿苑）の実施の可能性を検討、推進
- ・地域貢献のあり方を検討、地域福祉の拠点としての地域貢献事業推進、実施

○法人事業共通

- ・費用対効果、次期施設整備資金を考慮した事業経営
 - (1) 法人本部・事業所機能の効率化
 - ・各事業所による事業管理のための介護保険事務管理体制強化
 - ・マネジメント・加算・減算に伴う戦略的会議、記録等の事務処理を効率的、効果的にできるように見直しを実施
 - ・法人本部の事業管理体制、各事業所の連携体制の強化

- ・ 災害、感染等に於ける事業継続計画の検討、策定
- (2) 次期施設整備資金計画等
 - ・ 各事業所における加算・減算費の検討
 - ・ 各事業所における不要経費の調査・削減実施
 - ・ 次期施設整備資金計画の検討・策定
- ・ 地域連携、地域貢献への検討、推進。(地域の認知症高齢者支援等)
- ・ 職員の能力、やりがいの向上を目指し、職能給の実施
 - (1) 仕事へのやりがい、生きがい 職員の待遇改善
 - ・ 能力・資格・実績が反映された給与体制（育能給）の充実
 - ・ 専門性を高める為の人材育成、職責への取り組み推進（マイスター制度準備）
 - ・ 専門性を高める為の資格取得支援の推進
 - ・ 厚生福利制度の運営（ソウェルクラブの活用等）
 - (2) 人材確保計画の策定

○施設介護サービス事業（ショートステイ事業を含む）

- ・ 地域包括ケアシステム構築としての施設介護サービス事業の推進
 - (1) グループケアの確立（人材育成・業務改善）
 - ・ ユニット型への転換を視野に入れた個別ケア、グループケアの取り組み
 - ・ 介護職・看護職でのケアチームの確立
 - ・ 多職種協働によるチームケア体制の確立
（自立支援、認知症ケア・終末期ケア）
 - ・ 虐待防止、身体拘束廃止への取り組み、ケアマネジメントの徹底
 - ・ 第三者評価事業受審によるケアのあり方検討
 - (2) 地域ケア体制を捉え、地域連携による地域福祉の拠点としての機能の検討・実施
 - (3) 施設改修・整備計画の検討
 - ・ 多床室の改修（個室ユニット化等）の検討（施設改修・備資金計画の検討）

○在宅介護サービス等の事業

- (1) 地域包括ケアシステム構築としての在宅介護サービス事業展開の推進
- (2) 障害者総合支援法に基づく、事業展開の検討・推進
- (3) 地域ケア体制を捉え、地域連携の拠点としてのデイサービス／小規模多機能型居宅介護事業／認知症対応型老人共同生活援助事業／在宅介護支援センター／居宅介護支援センターの在り方の検討・実施（人材育成・業務改善等）
 - ・ 虐待防止、身体拘束廃止への取り組み、ケアマネジメントの徹底
 - ・ 多職種協働によるチームケア体制の確立
- (4) 地域ケア体制を捉えた、地域との在宅介護サービスのネットワーク構築の検討、推進
- (5) 地域ニーズを捉えた、新規地域福祉サービス等事業（生活困難者対策、高齢、障害、保育、医療診療所等）の検討・計画策定

法人理念 「老いても人生をエンジョイできる地域社会の創造」

【安心・安全なサービスの確立】

利用者の方の生活向上支援の推進（各共通）

- ・多職種協働によるチームケアの確立
達成目標水準／チームケアの管理体制確立
勤務・業務標準化・リーダー育成
 - 介護・看護協働によるグループの管理体制確立（特養）
 - 専門職チーム連携による介護・看護育成・支持の確立（特養）
 - チーム協働による管理体制確立（デイ・小規模・グループホーム）
- ・認知症対応への強化推進／看取りケア体制の見直し／自立支援の推進（特養）
- ・地域福祉の拠点としてのコミュニティホールの検討、実施。
- ・地域との連携推進による、災害時の地域福祉の拠点としての体制構築
- ・地域ニーズに即した新規福祉事業の検討・実施（高齢・障害・保育・一般医療診療所）

【誇れる人財の育成】

仕事へのやりがい、生きがい 職員の待遇改善（各共通）

- ・法人内マイスター制度の構築 達成目標水準／マイスター制度の構築・運営
新人・中堅・指導者・管理者までの法人内キャリアアップ制度の確立のため
業務の標準化（マニュアル・OJT ツールの再検討・運営）
外部研修内容の業務標準化への取り組み（介護力向上研修等）
個別・職域における計画的な内外研修・資格取得支援の実施
※介護福祉士80%、ケアマネ10名等
育能給制度における評価基準の見直し・実施
育能給制度内としてのマイスター制度の検討・実施（給与規定等の変更）
能力・資格・実績が反映された給与体制（育能給）の充実
- ・職員福利厚生充実（各共通）ソウエルクラブの活用、託児所等の子育て支援事業等
- ・人材確保計画の検討、策定、推進

【安定したサービス提供の為に財務強化】（各共通）

- ・既存事業施設における改修・新規計画の為に資金計画・管理
達成目標水準／法人全体（目標：年間三千万円基金積み立て等）
各事業所における収支管理の実施（保険請求・コスト管理等）
各事業所における計画的な利用稼働率向上
 - 特養・ショート／目標値：計97%
 - デイ／目標値：80%
 - 小規模／登録：25名
 - グループホーム／登録：9名 ※平成31年度増築により18名に変更